

ロシア軍のウクライナ侵攻で、改めてよみがえる 77 年前の記憶
ゆうざきさくえい
勇崎作衛シベリア抑留体験画
(Sakuei Yuzaki 1923-2011)

あか ふぶき
『赤い吹雪』(全 88 点・一挙展示)

シベリア抑留体験を絵で伝えようと勇崎作衛さん(1923-2011)が描いた油絵『赤い吹雪』88 点を一堂に展示します。

いま、ウクライナの人々が強いられている恐怖と不安を 77 年前に日本人も中国東北部(「満州」)や北朝鮮で体験していました。その後、60 万人以上の日本人捕虜・民間抑留者らが旧ソ連(現在のロシアや中央アジア)に抑留され、先行きの見えない毎日を送る中、飢えと寒さと強制労働のために約 1 割の 6 万人以上が亡くなりました。絵画でその歴史と記憶を伝える貴重な作品群です。

九段ギャラリーでは、2006 年、2010 年に続いて 12 年ぶり三度目の展示になります。77 年前に中国東北部からシベリアにかけての大陸で何が起きていたのか、絵をとおして知り、考えましょう。

お誘いあわせの上、ふるってお越しください。(※コロナ対策には十分気をつけてください。)

■日時:5月 21 日(土)~29 日(日)11:00~19:00(*29 日は 17:00 まで)

■会場:千代田区立九段生涯学習館2F「九段ギャラリー」

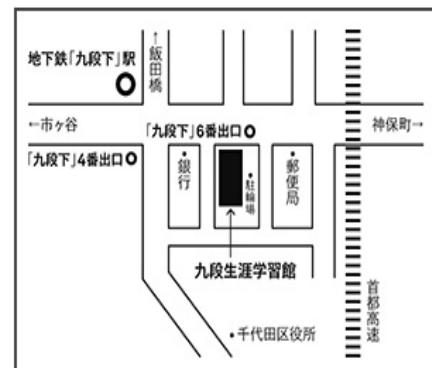
(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6 番出口すぐ前、
千代田区九段南 1-5-10 地図: <http://www.kudan-ll.info/guide/info>)



吹雪の野末の埋葬 (ウランウデ)

*ご来場の方全員に、特製画集(冊子)を差し上げます。会場に来られない方でご希望の方は、下記にご連絡ください。郵送します。(送料 100 円)

*設営や受付などを手伝ってくださるボランティアも募集中です。下記にご連絡ください。

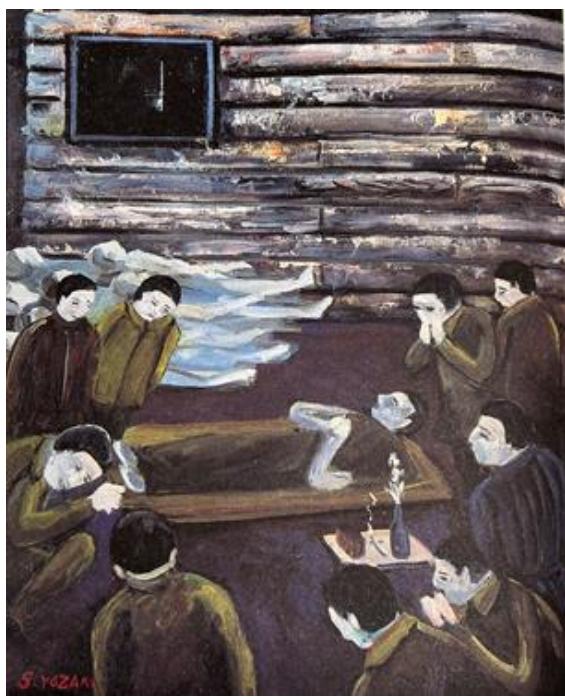


*生前の勇崎作衛さんを記録した映像も会場で上映します。また、下記 YouTube でもスリランカ人作家の撮った映像が見れます。
https://www.youtube.com/watch?v=KctxMrjHgI0&list=PLjRct0Oa8CIXvKK7KVnHLO_P-am5CSt&index=3

●主催:千代田・人権ネットワーク ●共催:シベリア抑留者支援・記録センター ●協力:東江寺(渋谷区広尾)
●連絡先:☎080-5079-5461 E-Mail:cfrtyo@gmail.com URL: <http://sdcpis.webnode.jp/>
〒102-0073 千代田区九段北 4-1-31-401



黒パンをかじると髪が逆立った（ウラン・ウデ）



闇黒のまど～死体置き場（ウラン・ウデ）



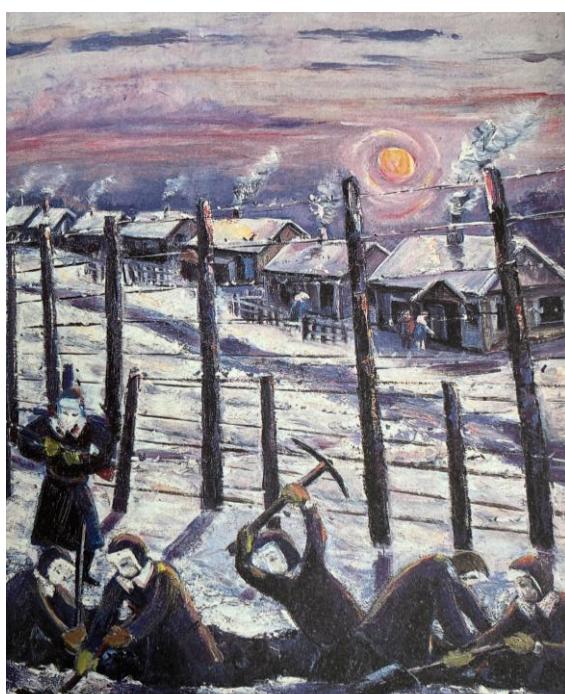
2000年

勇崎 作衛 略歴

- 1923年 6月 富山県の農家に生れる
 1944年 1月 満州・富拉爾基(フルギ)陸軍病院に勤務兵として入隊
 1945年 8月 敗戦後、ソ連軍捕虜として抑留される
 9月 ウランウデ第7大隊に配属され、収容所で暮らす
 1947年 6月 チタ第516労働大隊に配属、移動
 1948年 10月 舞鶴に引揚げ・復員
 富山から上京し、家具職人に弟子入りし、のちに自立
 大田区で家具販売、食品スーパーを経営
- 1988年 65歳で絵を描き始める
 1990年 6月 思うところあり、43年間経営してきた株まるゆう家具(旧食品スーパー)を解散。抑留体験画の制作に入る
 1991年 4月 ゴルバチョフ大統領来日を機に、自店舗一部で抑留生活実態回想画を発表・展示。大田区民プラザでも展示
 6月 旧満州・富拉爾基(フルギ)陸軍病院跡を慰靈訪問
 1992年 7月 シベリア埋葬地巡礼に参加、ウランウデ、チタを慰靈訪問
 8月 JR蒲田ビルで展示
 1993年 7月 画集『凍土の下で戦友が慟哭(ない)ている』を発刊
 91~98年 全国各地で個展・合同展など 35回展示(舞鶴引揚記念館、千鳥ヶ淵墓苑、ピース大阪、日本橋三越本店、京都市美術館、NHK松山・高知放送局など)
 1998年 5月 抑留シリーズ画 77点をビデオに収録、記録として残す
 1999年 1月 帰国直後より描き続けた実態スケッチ 170点の画集を完成。
 後世に語り継ぐため、小中学生も対象にした画集第2版『赤い吹雪』の制作に着手(カラー仕上げ油彩画 80余点収録)
 2005年 11月 NNNドキュメントで『88枚のシベリア—勇崎作衛のシベリア体験』放送
 2006年 10月 九段ギャラリーで「シベリア抑留体験画展」
 2007年 8月 画集『赤い吹雪』(一部カラー)東江寺が出版
 2010年 8月 『キャンバスに蘇るシベリアの命』(石黒謙吾構成、創美社刊)
 9月 九段ギャラリーで「シベリア抑留体験画展」
 2011年 1月 87歳で永眠
 2016年 8月 『キャンバスに蘇るシベリアの命』彩流社より再刊



望郷の念にやむ「おふくろおー」（ウラン・ウデ）



赤軍兵舎の水道工事（ウラン・ウデ）